

CS: 次世代情報システム検討分科会

【年間活動テーマ】2030年のキャンパスシステムを創造する
第2回WG活動報告

日時：2018年11月27日(火) 13:30～17:00
場所：富士通関西システムラボラトリ 8階多目的ホール
出席者：35名
研修テーマ：「RPAで大学事務業務は軽減できるのか？」の具現化へ向けて、
RPAによる定型業務の自動化を体験する

1. 研修内容

第1回分科会（テーマ：RPAで大学業務は軽減できるのか？）において、大学が期待するRPAの導入や利活用についてワールド・カフェを行いました。また、第1回WGにおいて、RPA活用に向けてのワークショップを実施いたしました。今回は、富士通製品Axeluteを素材として業種に特化しない標準的な請求書作成等のハンズオンセミナーを開催いたしました。今回のWGご参加によって、皆様ご自身がRPAによる定型業務の自動化を体験いただくことにより、今後の学内におけるRPA利活用ご検討のご参考にしていただければと思います。

2. スケジュール

13:30～13:35 全体会
・本日のWGについて

13:35～17:00 ハンズオンセミナー 講師：富士通株式会社

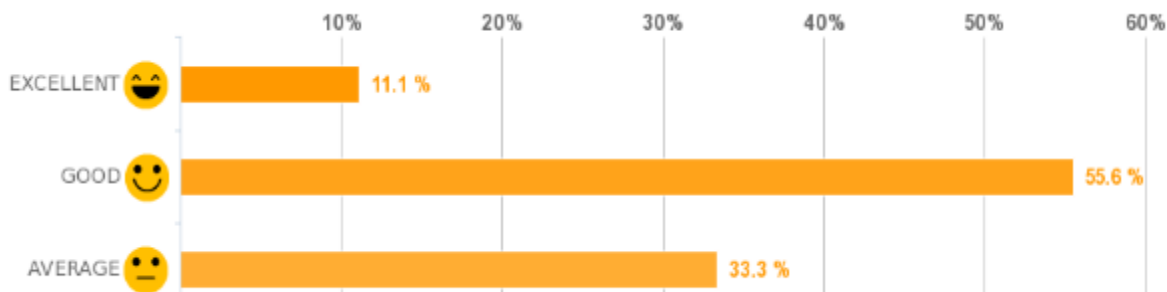
【ハンズオンセミナーの概要】

- Axeluteご紹介
- 入門編実践
Axeluteの起動・記録・再生機能の操作説明および実践
- 応用編実践
Axeluteのシナリオ編集機能の操作説明および実践
(データの転記入力、繰返し処理/条件分岐処理の活用等)

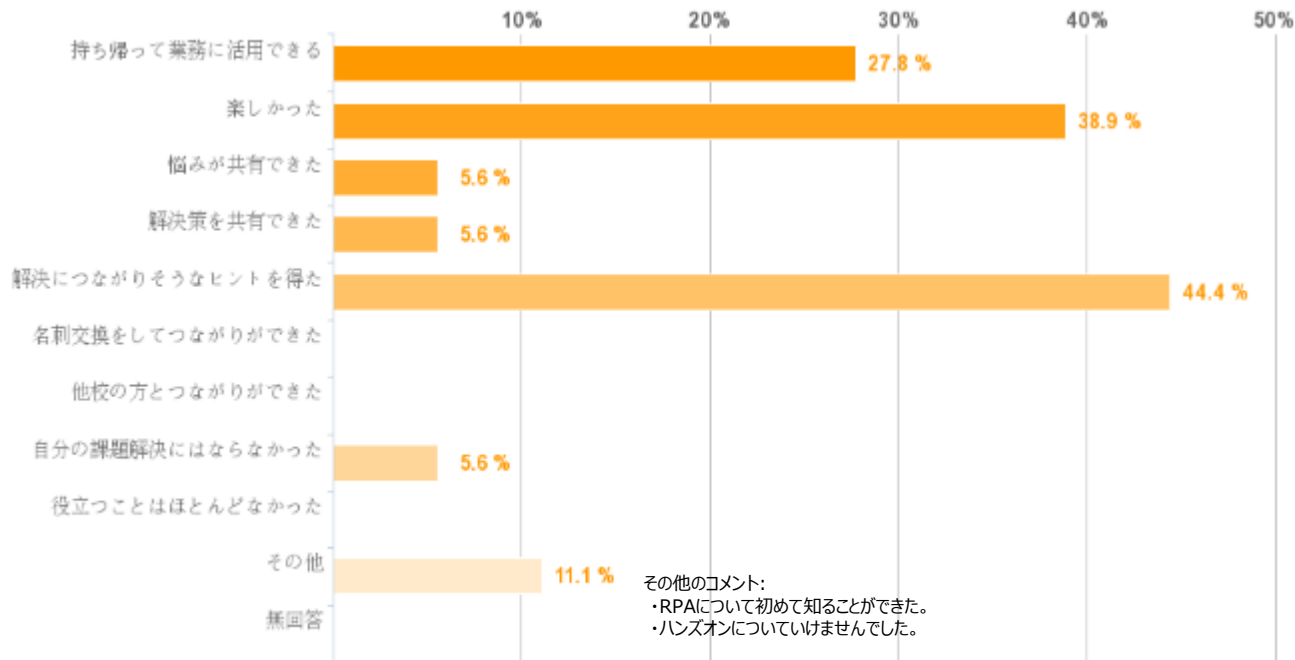


3. アンケート結果【回答率100%】(回収数18/18) ※総数「18」は大学関係者のみご回答

【Q1】今回の分科会についてお答えください。



【Q2】それはなぜか理由をお答えください（複数回答可）。



【Q3】今回の分科会に関するご意見・ご感想があればご自由にご記入ください。

- ・Axeluteを自由に操作でき非常に良かったです
- ・クライアントの環境に依存する部分が多く、時間内に予定されていた内容を作成することはできませんでしたが、慣れればシナリオの生産性も上がってくるかと思えます。
- ・最後の条件分岐や繰り返しの処理が説明のみになってしまって残念でしたが、RPAを初めて触ることができて、大変有意義でした
- ・ユーザー側のスキルによって良し悪しが変わるし、見ても使われる側にしかならなさそうに感じた。動かなくなった時にどこに問題があるかを自分で考えて修正できるレベルにならないと意味がないと思います。
- ・時間が足りないところがあった 具体的に「これは活用できそう」というイメージを持つことができなかったところもある。費用が問題か？
- ・Axeluteを便利に使いこなすには時間がかかると思います。使いこなせるようになると、業務の効率化になると思います。
- ・Axeluteの使用は難しいところもあったが、もっと使用方法を知っていけば、業務に使用(活かせる)できると思った。
- ・使用環境についての説明をはじめにいただければ、導入操作がスムーズだったと思います。実際に操作できる機会は大変勉強になりました。
- ・シナリオの自動作成機能が便利そうだと感じました。
- ・RPAの良い点、そうでない点が明確になった。これは製品のデモなどではわからない所なので、ハンズオンでやった事でわかったのは良かったと思う。
- ・製品の方向性はいいが、完成度がまだまだである
- ・丁寧だったと思います。RPAを導入する上での苦労が体験できてよかった
- ・RPAツールの操作がイメージできてよかった。誰でも使えるツールではなく、ある程度慣れが必要と感じた。コツが必要であると感じた。
- ・ハンズオンセミナーは資料と講師、受講者のexcelのバージョンが異なっていてわかりにくかったです 初心者向けとしてはもう少し工夫が必要
- ・Axelute・・・もう少し使いやすければよかったのだが・・・
- ・RPAの実際がわかり大変有意義だった
- ・ハンズオンでクライアント端末の環境に依存するトラブルは事前チェックでつぶしておいた方がよいと思う

【Q4】来年度（2019年度）、分科会で扱ってほしいテーマや、施設見学・事例・ワークショップなど内容についての案やご意見がありましたらご記入ください。

- ・AIの活用事例(FAまたはロボット以外)
- ・大学におけるネットワーク環境について、学生、教員、職員の分離と共有の考え方を考えて悩んでいます。
- ・OCRとPPAの連携のところをもう少し詳しく知りたいです。
- ・来年はAIが良いと感じました。
- ・東大のデジタル空間の教室？の様子
- ・働き方改革で活用できるツールなど

4. 参加校 [11校18名] ・賛助企業[1社17名]・参加総数35名

大阪経済大学[1] 関西国際大学[5] 関西大学[1] 京都産業大学[1] 神戸学院大学[1] 芝浦工業大学[1]
 常翔学園[1] 常翔学園大阪工業大学[2] 常翔学園摂南大学[2] 立教大学[2] 龍谷大学[1]